

1 将来に対する明るい見通しが持てること。

を見出す みいだ

暗がりに光る小さな灯りに希望を得るように、「苦境の中、わずかながらも希望をもたらす存在を見つけること」を意味します。空欄に入るのは「希望や明るい見通し」を意味する「光明」。「一筋の光明を見出す」「光明を得る」のように使います。「希望を見出す」と同意です。

答  
光明 こうみょう

使い方 小さな手掛かりに、事件解決の光明を見出した。

2 もっとも大切な場面に差し掛かること。

に入る はい

たとえば水戸黄門の印籠シーンやサスペンスの謎解きシーンなど、物語が見応えのあるクライマックスに差し掛かること。空欄に入る「佳境」は「景色のいい場所」の意味ですが、ビジネスが重要局面を迎えた時、ものごとの状況が最盛期に差し掛かった時などにも使われます。

答  
佳境 かきょう

使い方 このプロジェクトもそろそろ佳境に入る。

3 表情が一転してにこやかになること。

を崩す くず

硬く厳しかった表情や、険しかった「かめっ面」を崩して顔がほころび、やさしい笑顔になるさまを意味します。

「崩す」のは、表情や顔つきを表す「相好」。一般的には、ほとんどこの言い回しでしか使われません。類語には「破顔する」「目を細める」などがあります。

答  
相好 そうこう

使い方 普段は頑固で偏屈な親父が、相好を崩して孫を抱くところ。

4 考え方や手段、立場が同じであること。

を一にする いっし

先に行った車の車輪跡をなぞってついていく様子から「軌跡を辿って同じ道筋を進む」立場や考え方が同じ」になりました。

さらに「国家が統一されている状況」を表すことも。「機を一にする」は間違いです。類語に「方法が同じ」を意味する「揆を一にする」があります。

答  
軌 き

使い方 性格は正反対だが、仕事への向き合い方では軌を一にしてる。